



2024年10月11日

各 位

会社名 株式会社ビックカメラ

代表者名 代表取締役社長 秋保 徹

(コード番号：3048 東証プライム)

問合せ先 執行役員経営管理部門管掌 佐藤 佑太

TEL 03-3987-8785

連結業績予想と実績との差異、個別業績の前期実績との差異及び
特別損失（減損損失）の計上並びに剰余金の配当（増配）に関するお知らせ

当社は、2024年7月12日に公表した2024年8月期の連結業績予想と実績との差異、個別業績の前期実績との差異及び特別損失（減損損失）の計上について、お知らせいたします。

あわせて、当社は、本日開催の取締役会において、2024年8月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことの承認を求める議案を、2024年11月21日開催予定の第44期定時株主総会に付議することを下記の通り決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想と実績との差異について

(1) 2024年8月期 連結業績予想と実績との差異（2023年9月1日～2024年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 916,000	百万円 22,500	百万円 24,600	百万円 10,000	円 銭 58.42
今回実績(B)	922,572	24,388	26,674	13,908	81.25
増減額(B-A)	6,572	1,888	2,074	3,908	
増減率(%)	0.7	8.4	8.4	39.1	
(ご参考)前期実績 (2023年8月期)	815,560	14,215	16,566	2,936	17.16

(2) 差異の理由

売上高につきましては、株式会社コジマ及び携帯キャリアショップ事業が好調に推移したことから、前回予想を上回りました。

利益面につきましては、前述の増収により、各利益は前回予想を上回りました。

このほか連結業績に、当社グループが保有する建物等の固定資産の一部について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、特別損失として減損損失 3,193 百万円を計上しております。

2. 個別業績の前期実績値との差異について

(1) 2024年8月期 個別業績の前期実績値との差異（2023年9月1日～2024年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A)	百万円 425,526	百万円 847	百万円 3,860	百万円 △4,304	円 銭 △25.15
当期実績(B)	450,356	6,383	11,468	6,142	35.88
増減額(B-A)	24,829	5,535	7,608	10,446	
増減率(%)	5.8	653.0	197.1	—	

(2) 差異の理由

売上高につきましては、主にインバウンド売上の伸長により前期実績を上回りました。

利益面につきましては、前述の増収に加え、売上総利益率が改善したこと及び特別損失の大幅な減少により、各利益は前期実績を上回りました。

3. 剰余金の配当

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2024年7月11日公表)	前期実績 (2023年8月期)
基準日	2024年8月31日	同左	2023年8月31日
1株当たり配当金	24円00銭	15円00銭	10円00銭
配当金の総額	4,108百万円	—	1,711百万円
効力発生日	2024年11月22日	—	2023年11月24日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 理由

当社は、株主の皆様への利益還元を最も重要な経営課題の一つと考えており、業績に応じた適正な利益配当の実施を基本方針としております。この基本方針のもと、当期より、連結配当性向40%を目指すこととしております。

期末配当につきましては、前述の通期連結業績を踏まえ直近の配当予想の1株当たり15円から9円増配の24円、中間配当の9円と合わせて年間33円の配当とさせていただきます。

なお、現在進行中の2025年8月期の配当金の見通しにつきましては、1株当たり年間36円（中間配当16円、期末配当20円）を予想しております。

(ご参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
2024年8月期	9円00銭	24円00銭	33円00銭
前期(2023年8月期)	5円00銭	10円00銭	15円00銭

以上